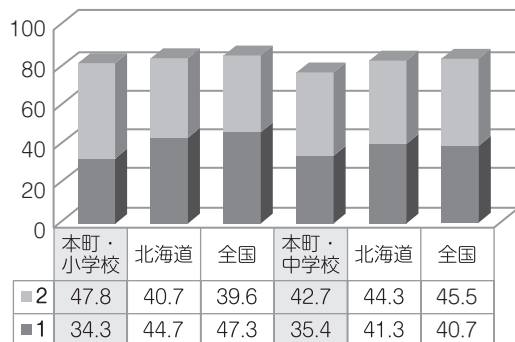


3 児童生徒質問紙調査結果

児童生徒質問紙の項目を抜粋して、全国・全道に対する本町の小・中学生の傾向をグラフで表しました。

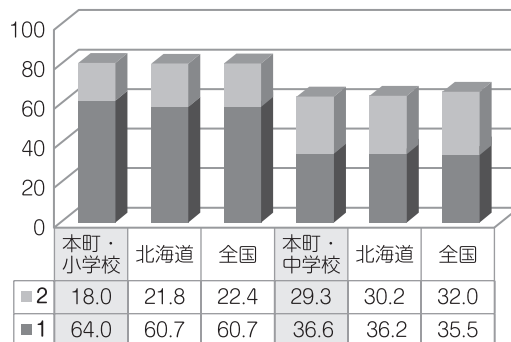
自分にはよいところがあると思いますか。

1. 思う 2. どちらかといえば思う



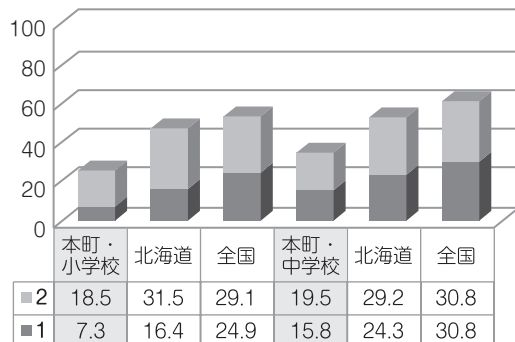
将来の夢や目標を持っていますか。

1. 持っている 2. どちらかといえば持っている



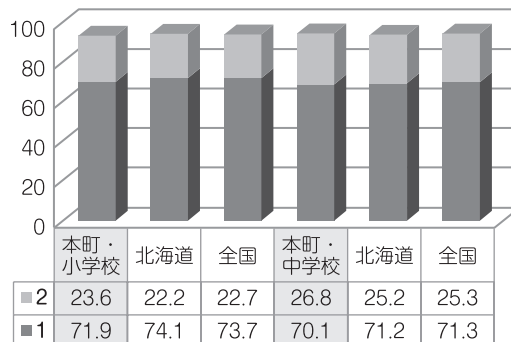
平日、どのくらいの時間、勉強をしますか。

1. 2時間以上 2. 1時間以上2時間未満



人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

1. 思う 2. どちらかといえば思う



4 分析結果の考察

○教科に関する調査からは、小学校・中学校の学力定着に課題があることがわかりました。特に小学校・中学校ともに、算数・数学が苦手な傾向が見られました。

○児童生徒質問紙の調査からは、全国平均と比較して、平日の家庭学習の時間が短いことがわかりました。将来の夢や目標、自己肯定感に関する質問では、全国と比較してやや低い結果でしたが、「人の役に立つ人間になりたい」と感じている児童生徒が多いことがわかりました。これは将来に向けた大きな強みであり、子どもたちの可能性の土台となるものです。

■教育委員会としては、やや自己肯定感が低いものの、将来の夢や希望を持ち、人の役に立ちたいと思う児童生徒が多いことを強みととらえ、子どもたちの可能性の土台をしっかりと作ることが学力向上につながると考えます。そこで、次のことを各学校と連携して進めてまいります。

①地域と関わり合う体験活動の充実

②個別最適な学びを保障する

「子ども主体の授業づくり」

③成功体験の積み重ねによる学習意欲の向上



■子どもたちが家庭や地域に支えられながら、学びの中で「できる」「役立つ」という実感を積み重ねて自信をつけ、それが学習意欲につながっていくよう、家庭でもぜひ温かい励ましをお願いいたします。

令和7年度 全国学力・学習状況調査分析結果の考察

中標津町教育委員会

本年度調査は、4月17日に小学校第6学年の児童と中学校第3学年の生徒を対象に行われました。調査内容は「教科に関する調査」（小学校…国語・算数・理科、中学校…国語・数学・理科）及び「児童生徒質問紙」となっています。以下、本町における調査結果について公表いたします。

1 教科に関する調査結果（平均正答率％）※中学校理科は、CBT方式で実施し結果は、IRTスコア

小学校	国語	算数	理科	中学校	国語	数学	理科
本町	64	51	57	本町	51	39	472
全道	65.4	55.2	56.3	全道	54	47.7	505
全国	66.8	58	57.1	全国	54.3	48.3	503

2 教科全体の状況

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び本町の状況をレーダーチャートで示したものです。

